

## 自 己 評 価 表

愛媛県立三崎高等学校

学校番号(39)

教育方針	生徒一人一人の個性を尊重し、ゆとりある伸び伸びとした学習活動を推進することにより、たくましく生きる力を育成する。	重点目標	1 進路満足度100%に向け、一人一人に応じた指導を徹底する 2 部活動と学校行事を充実させ、豊かな人間性を育てる 3 地域に根ざした学校づくりとボランティア活動を積極的に推進する 4 基本的な生活習慣を確立し、高い規範意識を育てる 5 人権意識を高め、いじめや差別のない社会の実現を目指す
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学校経営	重点目標達成のための実践	本校の重点目標を理解し、その実現に向けて創意工夫をしながら実践に励む。	A	学校の魅力化に関する従来の取組に加え新たな取組を行い、その成果を地域活性化につなげることができた。	さらに、学校の魅力化と地域活性化の相乗効果を図り、持続可能な取組に発展させたい。
	地域と連携した教育活動の充実	地域と連携した教育活動を行う。	A	授業・学校行事・総合的な学習の時間・部活動等様々な活動を通して、発展した取組で地域の連携を図ることができた。	地域のハブとしての高校の役割を果たすために、地域との連携を深めた創意工夫した教育活動の創造に励みたい。
	危機管理体制の充実	本校の危機管理マニュアルに基づいた活動を行う。	B	校内及び地域の防災訓練等を通して危機管理体制の確認を行ったが災害時に実効性のある具体的な対策に課題が残った。	原子力防災等、危機管理マニュアルの見直しを行い、実効性を高める取組を行う。
学習指導	家庭学習の充実	高い目的意識と主体的な家庭学習習慣を身に付けさせ、平均家庭学習時間150分以上を達成する。	C	平常時の平均時間は87分であり、目標を達成することができなかった。(調査時の平均は237分。)	参考書やスタディ・サプリ等を用いて、平常時から継続的に学習する意識を向上させる工夫が必要である。また、家庭学習習慣が身に付いていない生徒に対して学習方法から指導していく必要がある。
	教科指導の充実	積極的に研修を行うことで教員の指導力向上を計り、生徒の授業評価ポイント4.0以上を目指す。	A	全校生徒に対し授業評価アンケートを実施して、全ての教員が4.0以上をクリアしていた。	引き続き、生徒からの評価をもとに授業内容を改善するとともに、ICT機器やスタディ・サプリを活用して分かりやすい授業を心掛けた。
		漢検2級取得者5人、実用英検2級取得者2人、商業資格検定1級取得者6名(うち3種目以上1級取得者2名)を目指す。	B	漢検2級2人、英検2級0人、商業資格検定1級9人(うち3種目以上1級取得者0名)	検定の合格に向けて目標を立てて計画的に勉強したり、継続した勉強を続けていったりできるような力を身に付けさせたい。
生徒指導	生活指導の充実	身だしなみ指導を毎月1回実施し、毎回不合格者0を目指す。	C	不合格者0人を達成できなかった。	引き続き、不合格者0人を目指す。ただ、合格・不合格すること以上に、生徒個々においての日常の身だしなみに対する意識向上を図れるようにしていきたい。
	交通安全指導の充実	毎月1回交通安全指導日を設け、通学路の交通指導を行う。ヘルメットの確実な着用を呼びかけ、自転車・原付通学生の無事故・無違反を目指す。	B	交通指導や呼びかけを実施できた。事故・違反についてもなかった。	違反や事故はなかったが細かなマナーや配慮に欠ける運転はあったので啓発を更に続けていきたい。
	奉仕の精神を養う教育の充実	地域に貢献する奉仕活動を1回、校内の環境美化意識を高める奉仕活動を2回実施する。	A	地域の方々と協力をして充実した奉仕活動が実施ができた。	校外だけではなく、校内の日常の清掃活動に関しても意識を高めていきたい。
	主体性を育てる教育の充実	各クラスにおいて、各種専門委員を一人二役経験させる。	A	生徒全員に一人二役を経験させることができ、専門委員会の活動も活発化した。	今後も、兼務や異なる委員などを経験させ中身のある活動を行わせたい。

進路指導	キャリア教育の充実	社会人やキャリアコンサルタントによる講演会を年2回以上実施する。	A	校内において2回は実施し、校外でのガイダンスにおいても可能な限り参加するようにすすめた。	今後も生徒の実態にあった校内のガイダンスを実施し、校外での案内も適宜、実施する。
	多様な進路希望に応じた指導の充実	進路課通信を年10回以上発行し、進路に対する意識の向上を図る。	C	進路課通信はあまり発行できなかったが、進路に関する案内やポスターを配布又は掲示して、進路に対する意識の向上を図った。	進路の意識を高めるために、校内掲示やクラス掲示などを実施する。
		進路満足度100%を達成する。	B	各教科、ホームルーム担任、ガイダンス等を通じて進路指導をして、生徒の進路実現にむけてサポートした。	生徒の必要にあわせて個別面談や学習指導を実施し、学校全体で指導するように心掛ける。
人権教育	人権学習の充実	人権・同和教育HRの年3回実施や年1回以上の人権講演会を通して、人権意識の高揚を図る。	A	人権・同和教育HRは年間計画に沿って3回実施済み。人権講演会は1回実施した。	HR活動の指導計画を見直し、実践力の育成を目指した学習になるよう努めたい。
		人権だよりを年6回以上発行し、人権委員会を中心とした生徒主体の啓発活動を充実させる。	B	人権だよりを3回発行した。生徒主体の啓発活動はやや不十分であった。	委員会の活動紹介の機会を増やし、全校に活動を広める工夫をしたい。人権だよりの発行は毎学期1回以上にしたい。
	情報モラル教育の充実	授業や講演会などを通して携帯電話やネットの適切な利用法を理解させ、他者の人権を尊重する態度を育てる。	A	授業や非行防止教室を通して、携帯電話やネットの適切な利用法を理解させた。	情報モラルについて学ぶ機会を定期的に設けたい。
	異文化理解の充実	国際交流会等を通して異文化への関心を高め、異文化を尊重する態度を育てる。	A	高校生国際協力実体験プログラム参加、国際協力に関するエッセイコンテスト、異文化理解交流会(1年生)などを実施した。	生徒の主体的な活動を促す継続的な取り組みを展開したい。
現職教育	研修の充実	校内研修を年5回実施するとともに、校外研修の活用や研修報告を通して、資質向上を図る。	A	校内研修や校外研修の報告会を16回実施した。	学校の実態や教員のニーズに合った研修になるように努めたい。
		年5回以上の研究授業や公開授業時のアンケート・教員相互の授業参観等を、授業改善に役立てる。	B	研究授業を5回実施した。教員相互の授業参観等を授業改善に役立てる点においては、改善の余地がある。	教員相互の授業研修をより活発に行えるよう工夫したい。
保健・安全管理	保健活動の充実	毎月1回、生徒の健康課題に沿った「保健だより」を発行する。また、生徒保健委員会活動を充実させ、健康に関する情報発信と意識向上に努める。	A	保健だよりは毎月発行している。生徒保健委員会活動は、SHR発表、校内放送、掲示物作成、全校集会発表を実施した。	啓発活動を充実させることができた。生徒保健委員会の主体的な活動を目指し、さらに活発な活動へと充実させていきたい。
		生徒に対し、専門家による健康に関する講話を開催する。	C	講師との日程調整が合わず、食品衛生講話等が実施できなかった。	生徒のニーズや実態に応じた内容で専門家の講話を実施し、健康意識の向上に努めたい。
	衛生管理の徹底	毎月1回衛生委員会を開催する。	A	現在毎月実施できている。	教職員健康管理医との連携をさらに深め、指導・助言をいただきながら、安全衛生管理に努めたい。
		職員に対し、教職員健康管理医による講話を1回開催する。	A	7月に「胃の検診(ピロリ菌検査)について」の講話を実施した。	今後もニーズに応じた内容を提示し、健康相談・健康管理につなげていけるように努めていきたい。
安全管理の徹底	毎学期1回安全点検を実施する。	A	5月、10月、1月に実施した。	改善箇所は早期に対応できるように、日常点検も充実させ、安全な学校環境づくりに努めたい。	

図書活動	図書活動の充実	朝の読書の質の向上を目指すとともに、ブックトークなどを通じて読書に対する意識を向上させる。	A	「朝の読書」の時間を明確に設定し、実施している。ブックトークは1回実施した。	「朝の読書」を継続し、ブックトークの実施を増やすなど、読書に対する意識を向上させたい。
		図書委員会で「図書館だより」を毎学期1回以上発行し、図書館活動を生徒・保護者に啓発する。	A	5号発行した。（昨年度は3号）	図書委員会の活動を更に活発にし、図書館だよりの内容を充実させたい。
		図書館来館者数延べ1000人、年間一人あたりの貸出数3.5冊以上を目指す。	C	図書館来館者数延べ475人、貸出数321冊、一人あたり貸出数2.8冊であった。	新刊書の購入や図書室でのイベントの実施などにより、図書館活動の充実を図り、読書に対する意欲を高めたい。
PTA活動	PTA活動の充実	ホームページや「PTA便り」を通して、旬な情報を伝え、学校行事への積極的参加を促す。	A	文化祭・体育祭等において、一定の保護者の参加が常にあり、スムーズに運営することができた。	伊方以遠の保護者が参加しやすい時間、時期を検討していきたい。
		PTA総会の出席率50%以上を目指す。	A	54.4%の出席率であり、保護者の学校に対する意欲は高いと考える。	本年同様のベースを確保していきたい。
事務	教育行政職員としての適切な業務の遂行	光熱水費等経費の節減に努め、予算の有効活用をする。 迅速かつ適正な事務処理をする。	B	水道代は漏水があり、節減ができなかった。電気代は昨年度以下となっている。迅速かつ適正な事務処理はほぼ達成できている。	漏水の可能性がある場合はさらに早期対応に努めて経費節減をする。引き続き迅速・適正な事務処理に努めたい。
	環境整備と安全管理	校内の修繕箇所の早期発見、早期対応。 樹木の適正管理。 のり面修繕工事の安全管理。	A	修繕箇所の早期発見に努めた。早期に対応できるものは対応した。（金額の大きいものは予算要求した。） 樹木、のり面修繕工事については適正に管理できた。	校内修繕箇所の早期発見にさらに努めたい。のり面の管理については定期点検を実施したい。